東京新聞「即興政治論」（２００７年４月３日）

即興政治論

考えるポイント　見方のヒント

統一地方選に突入しています。私たちが住む自治体の将来を決める重要な選挙ですが、その議会に対しては、行政監視の機能を果たしていないとの批判が絶えません。そこで、自治体議会改革フォーラム代表で、法政大法学部教授の広瀬克哉さんとともに、地方議会を再生するには何をすべきか、を考えてみました。

記者・豊田・洋一

自治体議会改革フォーラム代表　広瀬　克哉さん

ひろせ・かつや　1958年、奈良県生まれ。87年東大大学院修了。法大助教授を経て、同大法学部教授。行政学の立場から地方選挙の公約集（ローカルマニフェスト）推進に取り組み、現在、自治体議会改革フォーラム呼び掛け人代表。

Q　地方議会を再生するには？

豊田　自治体の議決機関である議会は、行政監視機能も担っているはずですが、財政破たんした北海道夕張市はじめ、その役目を果たしていない自治体が多いように感じます。議会はなぜ機能しないのでしょうか。

広瀬　自治体の意思決定権は議会にあります。予算は議会が承認しなければ使えませんし、条例を決められるのは議会だけです。政策の中身を精査し、予算執行の可否を、責任を持って意思決定するのが議会です。自治体には選挙で選ばれた首長がいて、行政権を執行しますが、それに対してチェック機能を果たすのも議会です。しかし、実際には議会は、どちらかというと、行政に相談事を持って行ったり、口利きをしたりする世話役として、行政周辺をフォローする役目になっています。そうすることで、政治的支持を得たり、有力議員に育っていくような政治文化の中に、どっぷりつかっているから、議会は外側から行政をチェックすることができなくなってしまったんです。

討論能力高め　行政監視担え

豊田　そうした議会の在り方を根本的に変えないと、第一、第二の夕張が出ないとも限りません。まず、何から変えるべきですか。

広瀬　自治体の議会、特に本会議は極めて形式的な議事進行が行われていて、議員同士が論争することはありません。実質的な審議は委員会でやっているとはいっても、そこでも行政担当者への質問がほとんどです。議員同士の討論がどこにもなく、何が問題なのか、どの議員に説得力を感じるのか、有権者が判断する場がありません。まず、議員同士がちゃんと討論して、物事を判断している姿を住民に見せることが重要です。うまく行政に話を通す人が有力議員になり、いずれ議長になっても、政策論争が全くできないようでは、チェック機能は果たせません。政策論争で鍛えられた政治家を生み出し、育てていくことが、しっかりした議会になる第一歩だと思います。

豊田　僕自身の取材経験を振り返ると、討論能力がないと思われる人が選ばれ、それを隠すために議会運営を形式的にしている場合が多いように思えます。ですから、議会の運営方法を変えるよりも、まず、討論に堪えうる議員を選ぶことが先決ではないですか。

広瀬　その通りなのですが、これはニワトリが先か、タマゴが先かの議論で、今選ばれている議員にも、討論に堪えられる人がいると思います。ただ、こういう人たちは、どちらかというと若手で、政策論争をさせると光っていても、議会運営では長老たちに抑えられて発言権がほとんどありません。こういう人たちに活躍の場をつくることが大事です。場合によっては、住民も委員会で手を挙げて、委員長が許せば発言すればいい。やってはいけないと思い込んでいるだけです。会議規則で禁止されている場合もありますが、規定されていないことは、どんどんやればいい。こうしたことは町村議長会の議会活性化のリポートに書き込んであります。改革のヒントはいっぱいあるんです。現場の議員が知らないだけなんですよ。

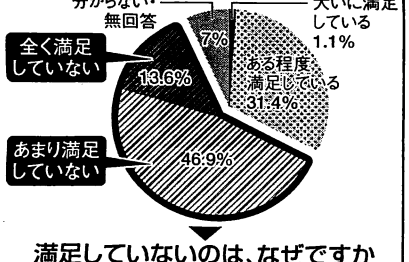
豊田　議員が職業化していることも問題ではないでしょうか。そこに住む会社員らが仕事を続けたまま議員になったり、傍聴したりできるような議会運営に変えれば、地域の英知を議会に結集できるのではないですか。

広瀬　理屈の上ではそうですが、議事の運営を今の形式的なままにして おいて、平日の夜間や週末、休日に議会を開いても住民は見に来ません。せっかくやったのに来ないんだったら、元に戻そうということになります。それに、今の議事運営は議員と行政職員とのやりとりが中心ですから、職員には超過勤務手当が出ます。そういう試みをしている議会は結構あると思いますが、思うような結果が得られず、縮小したところの方が多い気がします。

豊田　議員選挙が近づいています。議会の在り方を変えるには、今度の選挙でどういう人を選べばいいのでしょう。

広瀬　今の議会の在り方では、これからの地域の課題に対応できないのではないか、という問題意識を持っている人を選ぶことが第一歩で、政策論争ができる人、有権者自身が考える政策に近い人が次のステップです。「議会改革なんて言うやつは、地に足がついていない」なんて言う人には、問題意識が通用しないでしょうね。

地方議会の現状に満足していますか



満足していないのは、なぜですか

※2つまで回答	(%)
議会の活動が住民に伝わらないから	53.3
行政のチェック機能を果たしていないから	33.2
地方議員のモラルが低いから	32.5
議会内での取引を優先して審議が不透明だから	29.3
議会の政策立案能力が低いから	18.6
請願などの手続きが複雑で面倒だから	6.0
住民投票条例の制定などに消極的だから	5.5
女性議員の比率が低いから	3.4
分からない・無回答	1.4
その他	0.4

※日本世論調査会の全国面接世論調査（2006年12月2、3日実施）